

第13期第1回東京都福祉のまちづくり推進協議会 会長挨拶

令和3年2月5日

第13期東京都福祉のまちづくり推進協議会の会長にご推薦を頂きました高橋です。第12期に引き続き本推進協議会の会長職を務めさせていただくことに深く感謝申し上げます。皆様のご協力をどうかよろしくお願いいたします。

前期は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、昨年3月に東京2020大会が延期に追い込まれ、協議会委員の皆様が強い関心を有してきた大会時のアクセシビリティの検証ができませんでした。しかしながら、このような時期だからこそ、福祉のまちづくりのあり方を再検討する機会が持てたこともあります。

東京は今、日々変容を繰り返しています。その中でどのように福祉のまちづくりを進め、平等な社会環境を整えるべきか大きな岐路に立たされているといっても過言ではありません。混沌とした巨大都市東京の中で「誰一人取り残さない都市をつくり出すことができるのか」、「掛け声だけではないのか」、といった声がいつも耳元に聞こえてきます。私たちが問うその未来や目標を見失わない行動が、都民一人ひとりに求められている、というところ少し言い過ぎでしょうか。前期の協議会でも絶えずそのことの問題提起が、時を変えことばを変えて多くの委員から発せられたと感じます。

意見具申はその1断面に過ぎません。改めて13期という新たな協議会を迎え、着実に一つひとつの課題解決の方向を探求したいと思います。協議会で真剣に議論することこそが東京の福祉のまちづくりを前進させることに繋がると強く意識しています。2021年度は2019年度から始まった東京都福祉のまちづくり推進計画の中間年です。ユニバーサルデザインの先進都市東京の実現に向けて、全120事業の計画目標である「誰もが、自分の意思で円滑に移動し、必要な情報を入手しながら、あらゆる場所で活動に参加し、共に楽しむことができる社会」づくりを目指したいと思います。協議会の役割はとても重要です。

そのためにも、委員皆様の自由闊達なご議論を希望しています。是非遠慮なく協議会でのご発言をお願い申し上げます。

第13期東京都福祉のまちづくり推進協議会会長 高橋儀平